

# 令和3年度 1学期教育活動に関する保護者アンケート結果

回収率：97.4%

## 1 評価点による評価について

### 学校経営について

- 1 学校経営の重点や学部・学級の経営方針の保護者への伝達
- 2 特色や魅力のある学校づくり
- 3 教職員同士の連携、協力
- 4 教職員の礼儀、態度や服装、保護者への対応
- 5 学校や総合教育センターの施設設備の活用

|     |     | 1学期 |
|-----|-----|-----|
| No. | 保護者 |     |
| 1   | 3.4 |     |
| 2   | 3.3 |     |
| 3   | 3.3 |     |
| 4   | 3.6 |     |
| 5   | 3.0 |     |

### 〈評価結果について〉

保護者の皆様から、おおむね肯定的な評価をいただきました。全ての項目で、評価4（できている）評価3（ほぼできている）を合わせると、90%以上となっています。しかし、「No.5 施設設備の活用」は、最も低い数値であり、「分からない」と答えられた方も13名おりました。総合教育センターの施設利用は、共用部分として体育授業での体育館をはじめ中学部、高等部における作業学習での利用、儀式的行事における講堂の利用を行っております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育活動に多くの変更や中止がありましたが、感染症対策に丁寧に取り組んだ上で、これからも総合教育センターの施設を有効に活用し、学習活動を進めて参ります。また、お便りや連絡帳等で活動の様子をお伝えしていきます。

### 学習指導について

- 6 児童生徒の特性や発達段階の理解
- 7 時間割や学習内容は子どもに合っているか
- 8 実態に応じた授業づくり
- 9 児童生徒は学校生活を楽しみ、満足しているか
- 10 保護者との意見交換や共通理解

|     |     | 1学期 |
|-----|-----|-----|
| No. | 保護者 |     |
| 6   | 3.3 |     |
| 7   | 3.2 |     |
| 8   | 3.3 |     |
| 9   | 3.6 |     |
| 10  | 3.4 |     |

### 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。「No.9 児童生徒は学校生活を楽しみ、満足しているか」は、高い評価でした。児童生徒が学校に楽しんで登校していることを知り、私たちもうれしく感じております。「No.7 時間割や学習内容は子どもに合っているか」では、『生きていくために必要な力をつける時間が週に1時間でも1日20分でもあればありがたい』との御意見がありました。学校では児童生徒一人一人の教育を効果的に行うために時間割や教育内容を検討して設定しています。児童生徒の教育的ニーズについては、面談等でお話を伺っております。保護者の皆様との共通理解のもと、多様なニーズに対応できるように努めて参ります。「No.10 保護者との意見交換や共通理解」については、スクールバスの運行、校外学習等の日程について、教室環境の整備、教職員の対応について御意見がありました。職員会議、学部会等で児童生徒・保護者の皆様との信頼関係の構築について確認しました。今後も、学級や学部の職員同士で声を掛け合いながら、一人一人の気持ちに寄り添い、子どもたちの成長を目指していきたいと考えています。

## 生徒指導・進路指導について

- 1 1 児童生徒の悩みや希望の理解と指導
- 1 2 児童生徒の良さを生かし、個を伸ばす指導
- 1 3 発達段階に合った生き方指導・進路指導
- 1 4 自立と社会参加に必要な力の育成
- 1 5 保護者が分かりやすい進路情報の提供

|     |  | 1 学期 |
|-----|--|------|
| No. |  | 保護者  |
| 1 1 |  | 3. 3 |
| 1 2 |  | 3. 4 |
| 1 3 |  | 3. 3 |
| 1 4 |  | 3. 2 |
| 1 5 |  | 3. 2 |

## 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。「No.15 保護者に分かりやすい進路情報の提供」では、『進路の研修では今までにない分野に取り組んでくださりありがたかったです。学校でとりかかりを作っていたことでいろんな事を考えなければと刺激になりました』と御意見をいただきました。一人一人の生き方指導や進路指導は、常に個別で丁寧な相談を心掛けていく必要があると考えていますので不安なことは遠慮なく学校に御相談ください。教職員は、保護者の皆様に的確な進路情報を提供できるように校内でも定期的に進路研修に取り組んでいます。

今後も私たちは、職員自身の研修や情報収集に努め、進路指導の充実と個別のニーズに応じた情報提供を行っていきますので御理解と御協力をお願いします。

## 行事等について

- 1 6 児童生徒に合った運動会、学園祭のねらいや内容の設定
- 1 7 修学旅行、宿泊学習、校外学習等の学部の学習活動の充実
- 1 8 行事や校外学習等の経費の適切さ
- 1 9 居住地校交流、交流及び共同学習の充実
- 2 0 地域の人材を活用した学習の教育効果

|     |  | 1 学期 |
|-----|--|------|
| No. |  | 保護者  |
| 1 6 |  | 3. 2 |
| 1 7 |  | 3. 3 |
| 1 8 |  | 3. 3 |
| 1 9 |  | 2. 6 |
| 2 0 |  | 2. 7 |

## 〈評価結果について〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育活動に多くの変更や中止がありましたが、今年度は2年ぶりに運動会を開催できました。残念ながら保護者の観戦は御遠慮いただきました。そのような中でも、『開催できて良かった』という御意見や『DVDで見られる形にいただきとても良かった』との声がありました。その一方で、多くの保護者の皆様から、『学校に行く機会が少なくなり、学校の様子が見えない、できる範囲で参加や参観ができる体制を考えてほしい』という御意見もありました。今後につきましては、全国や秋田県での感染拡大状況の把握に努めるとともに、県教育委員会からの指示に従い、修学旅行等の校外学習や居住地校交流、地域の人材を活用した学習活動の安全な実施を目指して丁寧に計画を立案して参ります。また、各学習活動の中止等についても、本校児童生徒の実態や新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、遅れることなく決断したいと考えています。御理解と御協力をお願いします。

活動の様子はお便り、ホームページ、連絡帳等、様々な方法で発信していきます。

## その他について

- 2 1 安全管理（事故・災害対策、感染症防止対策、緊急時対応、個人情報管理等）は十分か
- 2 2 医療・福祉・労働と連携した児童生徒支援の充実
- 2 3 校内外の学習環境の整備
- 2 4 P T A活動を通した保護者と職員の連携・協力
- 2 5 地域への積極的な情報発信

|     | 1 学期  |
|-----|-------|
| No. | 保護者   |
| 2 1 | 3 . 4 |
| 2 2 | 3 . 1 |
| 2 3 | 3 . 5 |
| 2 4 | 3 . 3 |
| 2 5 | 3 . 0 |

## 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。「No.24 P T A活動を通した保護者と職員の連携・協力」で、『昨年度に続き、P T A活動についてかなり制限されており評価が下がります』との御意見がありました。P T A活動については、コロナ禍においても安心して活動できるように、自宅でもP T A活動に参加できる内容の工夫を検討するなどしております。保護者の皆様からの要望や御意見を参考にしながら、今後も活性化を図って参ります。

「No.25 地域への積極的な情報発信」については、『分からない』とした方が13名おられることから、活動についての周知に努めて参りたいと考えています。

## 2 意見や提案について

学校への激励や感謝の言葉だけでなく、疑問や御意見などを御記入いただきありがとうございます。夏休み明けの教育活動にしっかりと生かしていきたいと考えています。また、お気づきの点がありましたら、学級担任、学部主事、教頭等に遠慮なく御指摘御相談ください。以下、御意見に回答いたします。

- (1) 「他の保護者の方から、スクールバスのかもしか号が、冬に時々故障のため、来られない時もあると聞きましたが、バスの交換はしばらくしないのでしょうか。その場合、場所によってはわかさぎ号が来るとかは無理なのでしょうか」

<回答>

御心配をおかけし申し訳ありません。かもしか号は確かに年式も古くなっておりますが、3ヶ月ごとの法定点検はもちろんのこと、毎日の運行前点検などを行っております。運行委託会社の秋田中央トランスポートとも連携し、車両整備、運行には万全を期しております。運行等に御心配があるときには学校に御相談ください。なお、かもしか号は、現在県教育委員会において車両の更新ができるように検討中であると伺っています。情報が届きましたら保護者の皆様にはお伝えいたします。

- (2) 「宿泊を伴う学習では、宿泊施設の都合があるかもしれませんが次の日は休みという日程が望ましいです」「外での活動は、児童生徒や先生方の体に負担がないように涼しい時期でもよいのではと思います」「先生方は、宿泊等の学習では現地に視察に行っていますか。移動が大変でした」

<回答>

校外学習についての御意見を多数いただきました。年間計画の作成に当たっては、児童生徒の学習経験や発達の段階も考慮し、季節や学校行事などとの活動時期を考慮したり、各教科等とのねらいや内容を踏まえて関連付けを行い見通しをもって計画したりしていきます。もちろん児童生徒の体調にも配慮しておりますが、改めて行事の持ち方等について検討していきます。また、現地視察については、教員が複数名で出向き、宿泊施設のスタッフとともに、現地の危険箇所等について確認するなど事前に打合せをしております。今回、

お子さんの参加についてこのように感じられていたことについては、誠に申し訳なく思います。今回の御指摘を受けて職員間で上述について再確認し、一人一人の実態に応じるとともに、気持ちに寄り添い、子どもたちの成長を目指していきたいと考えています。

(3)「我が子は暑さに弱く、教室が暑いと言います。暑さで体が疲れてきます。暑さ対策をしてほしいです」  
<回答>

御心配になっていることに気付かず、申し訳ありませんでした。御指摘の教室は、熱がこもりやすい場所となっています。クーラーも稼働しておりますが暑さの解消は容易ではありません。現在、業者にも相談しクーラーの更新も考えておりますが実現は難しいところです。教室には扇風機を持ち込み、対策をしておりますが、水分補給も含めて、体調に留意するよう本人の気持ちを確認しながら関わって参ります。

(4)「同じ月に仕事を休まなければ行けない行事が多くつらい。子どものためなので仕方がないがお願いし  
づらい」

<回答>

配慮が足りなかったことを深くお詫び申し上げます。PTA活動については、年間の予定をお示しいていきますので是非御活用いただき、計画をお考えいただければと思います。よろしく申し上げます。

(5)「あえてアピールしない、またはできない部分もあるかと思いますが、コロナもあり難しいところもあるだろうと思いつつも「みどり学園」を名前しか知らないという方もいるので可能な限り、アピールして欲しいです」

<回答>

地域への積極的な情報発信が弱いという御意見です。御指摘ありがとうございます。これまでも学校行事や学部行事の際には、テレビ、新聞各社に取材の依頼を行っていますが、これからも取り上げていただけるように、積極的に取材依頼を行って参ります。

最後になりますが、保護者の皆様からの貴重な御意見ありがとうございました。4月からも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育活動に多くの変更や中止がありましたが、概ね、プラスの評価をいただきました。これは、学校がコロナ対策についてこまめにお知らせを出したこと、保護者の皆様が御理解御協力くださったことが要因にあると思います。御協力、ありがとうございます。

アンケートの結果につきましては、職員間で情報を共有し、後期の学校運営に生かして参ります。なお、御不明な点は、学級担任、学部主事、教頭等に遠慮なく御指摘、御相談ください。

## 令和3年度 2学期教育活動に関する保護者アンケート結果

回収率：95.7%

### 1 評価点による評価について

#### 学校経営について

- 1 学校経営の重点や学部・学級の経営方針の保護者への伝達
- 2 特色や魅力のある学校づくり
- 3 教職員同士の連携、協力
- 4 教職員の礼儀、態度や服装、保護者への対応
- 5 学校や総合教育センターの施設設備の活用

|     | 1学期 | 2学期 |
|-----|-----|-----|
| No. | 保護者 | 保護者 |
| 1   | 3.4 | 3.4 |
| 2   | 3.3 | 3.4 |
| 3   | 3.3 | 3.4 |
| 4   | 3.6 | 3.6 |
| 5   | 3.0 | 3.2 |

#### 〈評価結果について〉

保護者の皆様から、おおむね肯定的な評価をいただきました。全ての項目で、前期と同じ、または評価点が上がりました。前期と比較すると、評価4（十分できている）が増えた結果です。評価4と評価3（ほぼできている）を合わせると、90%以上となっています。しかし、「No.5 学校や総合教育センターの施設設備の活用」は、まだ低い数値です。総合教育センターの施設は、本校との共用部分として体育館をはじめ中学部、高等部における作業学習での利用、儀式的行事や学園祭、全校集会における講堂の利用を1学期に引き続き行っております。保護者の皆様に活動を御覧いただけない状況ではありますが、お便りや連絡帳等で活動の様子をお伝えしていきます。感染症対策については、総合教育センターとの連携はもちろんのこと最大限の感染症対策に丁寧に取り組んだ上で、これからも総合教育センターの施設を有効に活用し児童生徒の学習活動の充実を目指して参ります。

「No.4 教職員の礼儀、態度や服装、保護者への対応」は、全25項目中最も良い評価をいただきました。いただいた評価におごることなく、これからも、子ども、保護者と信頼し合える関係をしっかりと築き、語り合って成長できる環境を整えていきたいと考えています。

#### 学習指導について

- 6 児童生徒の特性や発達段階の理解
- 7 時間割や学習内容は子どもに合っているか
- 8 実態に応じた授業づくり
- 9 児童生徒は学校生活を楽しみ、満足しているか
- 10 保護者との意見交換や共通理解

|     | 1学期 | 2学期 |
|-----|-----|-----|
| No. | 保護者 | 保護者 |
| 6   | 3.3 | 3.5 |
| 7   | 3.2 | 3.3 |
| 8   | 3.3 | 3.3 |
| 9   | 3.6 | 3.5 |
| 10  | 3.4 | 3.4 |

#### 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。そのような中で、「No.9 児童生徒は学校生活を楽しみ、満足しているか」は、少し数値を下げています。コロナ禍での新しい生活様式にある、手洗い、マスクの着用等は、日常的に浸透している習慣の一つとなりました。本校の児童生徒はよく守っていると感じております。しかしながら、これらのことが児童生徒に心理的な窮屈さを与えているのではないかと私たちは心配しております。児童生徒の発達段階に応じて、その子が分かるように状況を伝え、いたずらに不安がらせない配慮が必要だと考えております。大人にも先の見通しが立たない中、児童生徒に分かる

ように伝えるには工夫がいりますが、大人自身がリラックスしたり、健康的な生活を送ったりするような工夫を意識して取り入れ、児童生徒を見守っていきたいと考えております。

## 生徒指導・進路指導について

- 1 1 児童生徒の悩みや希望の理解と指導
- 1 2 児童生徒の良さを生かし、個を伸ばす指導
- 1 3 発達段階に合った生き方指導・進路指導
- 1 4 自立と社会参加に必要な力の育成
- 1 5 保護者が分かりやすい進路情報の提供

|     | 1 学期 | 2 学期 |
|-----|------|------|
| No. | 保護者  | 保護者  |
| 1 1 | 3. 3 | 3. 3 |
| 1 2 | 3. 4 | 3. 4 |
| 1 3 | 3. 3 | 3. 4 |
| 1 4 | 3. 2 | 3. 4 |
| 1 5 | 3. 2 | 3. 3 |

## 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。

「No.1 5 保護者に分かりやすい進路情報の提供」は、PTA研修会や学部PTA、年6回発行している進路指導部だよりなどを通して、積極的な情報提供を行っています。しかし、一人一人の生き方指導や進路指導は、常に個別で丁寧な相談を心掛けていく必要があると考えています。「進路」への漠然とした不安を抱えている保護者の皆様には、個別に丁寧な相談・情報提供を心掛けて参ります。不安なことは遠慮なく学校に御相談ください。今後も、進路指導の充実と個別のニーズに応じた情報提供を行ってまいりますので、御理解と御協力をお願いします。なお、教職員は、保護者の皆様に的確な進路情報を提供できるように校内で定期的に進路研修に取り組むとともに、職員会議で、学部間の連携、小・中・高を通じたキャリア教育実践の重要性、一人一人に応じた進路情報提供の方法などについて確認・共通理解を図っております。

## 行事等について

- 1 6 児童生徒に合った運動会、学園祭のねらいや内容の設定
- 1 7 修学旅行、宿泊学習、校外学習等の学部の学習活動の充実
- 1 8 行事や校外学習等の経費の適切さ
- 1 9 居住地校交流、交流及び共同学習の充実
- 2 0 地域の人材を活用した学習の教育効果

|     | 1 学期 | 2 学期 |
|-----|------|------|
| No. | 保護者  | 保護者  |
| 1 6 | 3. 2 | 3. 3 |
| 1 7 | 3. 3 | 3. 4 |
| 1 8 | 3. 3 | 3. 5 |
| 1 9 | 2. 6 | 3. 0 |
| 2 0 | 2. 7 | 3. 1 |

## 〈評価結果について〉

ここでも、おおむね肯定的な評価をいただきました。1年の中で一番教育活動が充実する2学期でした。学園祭や居住地校交流を実施でき、地域の方々に演技等を教えていただいたり触れ合ったりする機会も増えましたので、その点の評価もあったと思います。学園祭は、参観者の入れ替え制で行いましたが保護者の皆さんに御覧いただくことができ、私たちとしても大変嬉しく感じております。

校外学習については、『近場での校外学習が多く、コロナ禍でも比較的安心して送り出すことができました。地域の良さ、特色を理解し、自分が住んでいる市町村にも学ぶところはたくさんあるんだと子どもたちも思うきっかけになったのではないかと思います。自分たちの住んでいる地域の良さを実感して欲しいと思っています。』との御意見をいただきました。修学旅行も県内での実施とはなりましたが、3学部ともふるさと学習を試み、ふるさとに対する誇りをもつことができました。私たちもコロナ禍における新しいスタイルの行事の在り方について、学ぶ機会となりました。学校行事は、日常では得られない感動や実体験を共有できる等の教育的意義があり、コロナ下でも重要な教育活動であることに変わりはありません。今後も保護者の皆様の御理解と御協力を得ながら、実施を検討して参ります。

## その他について

- 2 1 安全管理(事故・災害対策、感染症防止対策、緊急時対応、個人情報管理等)は十分か
- 2 2 医療・福祉・労働と連携した児童生徒支援の充実
- 2 3 校内外の学習環境の整備
- 2 4 P T A活動を通じた保護者と職員の連携・協力
- 2 5 地域への積極的な情報発信

|     | 1 学期  | 2 学期  |
|-----|-------|-------|
| No. | 保護者   | 保護者   |
| 2 1 | 3 . 4 | 3 . 5 |
| 2 2 | 3 . 1 | 3 . 3 |
| 2 3 | 3 . 5 | 3 . 3 |
| 2 4 | 3 . 3 | 3 . 2 |
| 2 5 | 3 . 0 | 3 . 1 |

## 〈評価結果について〉

ここでも保護者の皆様からおおむね肯定的な評価をいただきました。「No.2 4 P T A活動を通じた保護者と職員の連携・協力」では、数値を少し下げました。『分からない』と回答された方もおり、コロナ禍での制限と共に評価が下がったものと考えます。コロナ禍においても安心して活動できるように、自宅でもP T A活動に参加できる内容の工夫をしてみました。成果に結びついておりません。P T A参加率の向上は大きな課題ですので、皆さんと知恵を絞って考えていきたいと思っております。保護者の皆様からの要望や御意見を参考にしながら、今後も活性化を図って参ります。

「No.2 5 地域への積極的な情報発信」については、『分からない』とした方が10名、評価2(あまりできていない)、評価1(できていない)の方もおられます。今年度はミニ学校展の開催を地域の小学校や高等学校に広げることができました。また、ホームページを定期的に更新し、タイムリーに学校の取組をお知らせしました。しかし、まだまだ、情報発信は少ないものと認識しております。地域の理解は、児童生徒の卒業後の進路や豊かな社会生活につながっていきます。今後も情報発信の方法を工夫しながら、活動についての周知に努めて参りたいと考えています。

## 2 意見や提案について

今回の評価アンケートでは、学校への激励や感謝の言葉を数多くいただきました。ありがとうございます。これからも、子どもと保護者と先生が信頼し合える関係をしっかりと築き、語り合って成長できる環境を整えていきたいと考えています。そして、この結果を受けて、次年度以降の取組を再検討し、一層学校改善に努めて参りたいと思っております。今後とも保護者の皆様方の御協力・御支援をよろしくお願いいたします。また、お気づきの点がありましたら、学級担任、学部主事、教頭等に遠慮なく御指摘、御相談ください。

以下、御意見に回答いたします。

- (1) みどり学園特有の名物となるような創作物があると良いなと思っております。(できれば将来の仕事等につながるような)

### <回答>

御提案ありがとうございます。創作物のイメージがどのようなものなのか、一度お話を伺いできれば参考にさせていただけるものと考えています。ちなみに、本校中学部や高等部では、数多くの作業製品を作っています。高等部に限ってみますと、巾着、羊毛ストラップ、エコロン(香玉)、陶器ぐい呑み、梅皿、秋田杉コースター、りんごジャムなどを作っています。今年度は、本校のアンテナショップとして「道の駅おがなまはげの里オガール」「小玉醸造蔵ショップ」「県立大学秋田キャンパス売店」「雲昌寺(あじさい観覧期間)」の4カ所で販売も行いました。機会がありましたら、ぜひ作業学習を御覧ください。

(2)「潟上市の夕方の防災無線で、各学校の児童生徒会の子どもたちの声が出ています。みどり学園も参加できないでしょうか」

<回答>

御提案ありがとうございます。学校のPRとして一つの方法になり得るものと考えています。一度、潟上市教育委員会の方にお話ししたところ、興味をもってくださいました。まだ、具体的な検討ができておりませんので、改めて検討していただけるよう担当者の方にお伝えしていきたいと考えています。

最後になりますが、保護者の皆様からの貴重な御意見を指標として、よりよい学校づくりを進めて参ります。「児童生徒の健やかな成長」のために御支援、御協力をよろしくお願ひします。

また、これまで、保護者の皆様には様々な御協力をいただきました。ありがとうございました。

アンケートの結果につきましては、職員間で情報を共有し、来年度の学校運営に生かして参ります。なお、御不明な点は、学級担任、学部主事、教頭等に遠慮なく御指摘、御相談ください。



## 令和3年度 2学期教育活動に関するアンケート 集計結果

＜調査期間＞令和3年12月6日～12月20日      ＜回収率＞保護者95.7%      職員:90%

4=十分できている    3=ほぼできている    2=あまりできていない    1=できていない    0=分からない

| 領域        | No                    | 評価内容                              | 評価者 | 評価点(平均) |     |     |     |     |     |     |     | 分からない(人数) |   |
|-----------|-----------------------|-----------------------------------|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|---|
|           |                       |                                   |     | 小学部     |     | 中学部 |     | 高等部 |     | 全体  |     | 前         | 後 |
|           |                       |                                   |     | 前       | 後   | 前   | 後   | 前   | 後   | 前   | 後   |           |   |
| 学校運営      | 1                     | 学部学級の重点のわかりやすい説明                  | 保護者 | 3.5     | 3.5 | 3.4 | 3.7 | 3.4 | 3.2 | 3.4 | 3.4 | 4         | 2 |
|           |                       |                                   | 職員  | 2.9     | 2.8 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 1         | 1 |
|           | 2                     | 魅力ある学校づくり                         | 保護者 | 3.2     | 3.2 | 3.4 | 3.7 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 4         | 3 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.1     | 3.0 | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 0         | 0 |
|           | 3                     | 職員の連携、協力                          | 保護者 | 2.8     | 3.4 | 3.5 | 3.8 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 7         | 3 |
| 職員        |                       |                                   | 2.9 | 3.2     | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 0   | 2         |   |
| 4         | 職員の礼儀、態度、服装           | 保護者                               | 3.6 | 3.6     | 3.8 | 3.8 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 1   | 0         |   |
|           |                       | 職員                                | 3.2 | 3.2     | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 0   | 0         |   |
| 5         | 施設設備(教育センターを含む)の活用    | 保護者                               | 2.9 | 3.3     | 3.2 | 3.5 | 3.0 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 13  | 8         |   |
|           |                       | 職員                                | 2.8 | 2.7     | 2.6 | 2.9 | 2.7 | 3.0 | 2.7 | 2.9 | 1   | 2         |   |
| 学習指導      | 6                     | 児童生徒の特性や発達段階の理解と指導                | 保護者 | 3.5     | 3.5 | 3.3 | 3.9 | 3.2 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | 5         | 2 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.1     | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 0         | 0 |
|           | 7                     | 児童生徒に合った時間割や学習内容                  | 保護者 | 3.5     | 3.6 | 3.3 | 3.7 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 3.3 | 7         | 5 |
|           |                       |                                   | 職員  | 2.9     | 2.9 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 2.9 | 0         | 1 |
|           | 8                     | 教職員の熱心な教材研究・授業づくり                 | 保護者 | 3.4     | 3.5 | 3.5 | 3.7 | 3.2 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 6         | 5 |
| 職員        |                       |                                   | 3.0 | 3.1     | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 0   | 0         |   |
| 9         | 児童生徒が学校生活を楽しみ、満足しているか | 保護者                               | 3.5 | 3.4     | 3.7 | 3.9 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3   | 3         |   |
|           |                       | 職員                                | 3.1 | 3.2     | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 3.1 | 3.3 | 0   | 0         |   |
| 10        | 保護者との意見交換や共通理解        | 保護者                               | 3.5 | 3.3     | 3.4 | 3.6 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.4 | 4   | 2         |   |
|           |                       | 職員                                | 3.1 | 2.9     | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 0   | 0         |   |
| 生徒指導・進路指導 | 11                    | 児童生徒の悩みや希望の理解と指導                  | 保護者 | 3.5     | 3.2 | 3.2 | 3.6 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 6         | 4 |
|           |                       |                                   | 職員  | 2.8     | 3.0 | 3.1 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 3.2 | 0         | 0 |
|           | 12                    | 児童生徒の良さを生かした個を伸ばす指導               | 保護者 | 3.5     | 3.5 | 3.6 | 3.8 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.4 | 5         | 2 |
|           |                       |                                   | 職員  | 2.9     | 3.1 | 3.1 | 3.3 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 0         | 0 |
|           | 13                    | 発達段階に合った生き方指導・進路指導                | 保護者 | 3.1     | 3.4 | 3.3 | 3.8 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 8         | 3 |
| 職員        |                       |                                   | 2.6 | 2.9     | 3.0 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 0   | 0         |   |
| 14        | 自立と社会参加に必要な力の育成       | 保護者                               | 3.0 | 3.2     | 3.5 | 3.8 | 3.2 | 3.4 | 3.2 | 3.4 | 7   | 3         |   |
|           |                       | 職員                                | 2.8 | 2.9     | 2.8 | 2.9 | 3.1 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 0   | 2         |   |
| 15        | 保護者が分かりやすい進路情報の提供     | 保護者                               | 2.8 | 3.3     | 3.4 | 3.7 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 7   | 2         |   |
|           |                       | 職員                                | 2.4 | 3.1     | 3.0 | 3.1 | 2.9 | 3.0 | 2.8 | 3.0 | 0   | 0         |   |
| 行事等       | 16                    | 児童生徒に合った運動会や学園祭のねらいや内容の設定         | 保護者 | 3.2     | 3.3 | 3.1 | 3.7 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 8         | 3 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.1     | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 0         | 0 |
|           | 17                    | 修学旅行、宿泊学習、校外学習等の学部の学習活動の充実        | 保護者 | 3.2     | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.2 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 4         | 2 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.4     | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 0         | 1 |
|           | 18                    | 行事や校外学習の経費の適切さ                    | 保護者 | 3.3     | 3.7 | 3.4 | 3.7 | 3.2 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | 6         | 2 |
| 職員        |                       |                                   | 3.4 | 3.3     | 3.2 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 3.4 | 1   | 1         |   |
| 19        | 居住地校交流、交流及び共同学習の充実    | 保護者                               | 2.6 | 2.7     | 2.6 | 3.3 | 2.6 | 3.0 | 2.6 | 3.0 | 20  | 11        |   |
|           |                       | 職員                                | 2.7 | 3.2     | 2.5 | 3.3 | 2.7 | 3.2 | 2.6 | 3.2 | 2   | 1         |   |
| 20        | 地域の人材を活用した学習の教育効果     | 保護者                               | 2.2 | 2.7     | 2.8 | 3.5 | 2.9 | 3.1 | 2.7 | 3.1 | 19  | 12        |   |
|           |                       | 職員                                | 2.5 | 2.9     | 3.2 | 3.3 | 2.9 | 3.1 | 2.9 | 3.1 | 1   | 1         |   |
| その他       | 21                    | 安全管理(事故・災害・感染症防止対策、緊急時対応、個人情報管理等) | 保護者 | 3.4     | 3.3 | 3.6 | 3.8 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.5 | 3         | 2 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.1     | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 0         | 0 |
|           | 22                    | 医療・福祉・労働と連携した児童生徒支援の充実            | 保護者 | 3.0     | 3.1 | 3.3 | 3.7 | 3.0 | 3.3 | 3.1 | 3.3 | 8         | 4 |
|           |                       |                                   | 職員  | 3.1     | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 0         | 1 |
|           | 23                    | 校内外の学習環境の整備                       | 保護者 | 3.5     | 3.1 | 3.5 | 3.8 | 3.5 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 1         | 4 |
| 職員        |                       |                                   | 3.1 | 3.2     | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 3.0 | 3.2 | 3.1 | 0   | 0         |   |
| 24        | PTA活動を通じた保護者と職員の連携・協力 | 保護者                               | 2.8 | 2.8     | 3.7 | 3.8 | 3.2 | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 7   | 6         |   |
|           |                       | 職員                                | 3.0 | 3.1     | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 3.0 | 0   | 0         |   |
| 25        | 地域への積極的な情報発信          | 保護者                               | 2.5 | 2.9     | 3.0 | 3.5 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 3.1 | 13  | 10        |   |
|           |                       | 職員                                | 2.9 | 3.2     | 3.2 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 3.1 | 0   | 0         |   |

|              |    |                              |    |     |     |     |     |     |     |     |     |   |   |
|--------------|----|------------------------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| 運営組織         | 26 | 学校教育目標や重点を踏まえた学部・学級経営        | 職員 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 0 | 0 |
|              | 27 | 職員会議・運営委員会、各種委員会、学部・分掌の役割や連動 | 職員 | 2.8 | 3.1 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 0 | 0 |
|              | 28 | 明確な役割・責任分担、協力した担当業務遂行        | 職員 | 2.6 | 3.0 | 3.0 | 2.8 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 0 | 2 |
|              | 29 | 仕事の効率化や経費節約に向けた取り組み          | 職員 | 2.8 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 0 | 0 |
|              | 30 | 諸表簿や簿冊の適切な管理                 | 職員 | 3.5 | 3.5 | 3.2 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 0 | 0 |
| 教育活動・地域支援・研修 | 31 | 個別の指導計画・年間指導計画の適切な作成・活用      | 職員 | 2.9 | 3.2 | 2.8 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 0 | 0 |
|              | 32 | 幼・保、小・中・高のニーズに応じた地域支援        | 職員 | 2.8 | 2.9 | 3.0 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 0 | 1 |
|              | 33 | 研究や研究主題を踏まえた授業実践への主体的な取り組み   | 職員 | 2.9 | 3.1 | 2.7 | 3.0 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 3.0 | 0 | 0 |
|              | 34 | 専門性向上を目指した研修の積極的な実施          | 職員 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 3.0 | 3.1 | 2.9 | 2.9 | 0 | 0 |
| 同僚性          | 35 | 同僚性を意識した仕事への取り組み             | 職員 | 2.9 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 3.3 | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 0 | 0 |



# 令和3年度あきた型学校評価

## (1)豊かな教育のある学校の実現

|      |      |
|------|------|
| 評価領域 | 授業実践 |
|------|------|

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 重点目標  | 「キャリア教育全体計画」を活用した小学部・中学部・高等部の一貫した教育活動の実践。  |   | P |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「キャリア教育全体計画」を基に立てた年間指導計画に従い学部毎に指導しているが、学部の接続をさらに緊密にしていく必要がある。</li> <li>「キャリア教育全体計画」に基づいて、指導の形態毎に年間指導計画を見直す時期にきている。</li> <li>授業のねらいと評価の妥当性をより高める必要がある。</li> <li>卒業後を見据えて発達段階や生活年齢に応じた学習活動を充実させていく必要がある。</li> </ul> |   |   |
| 具体的な目標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「キャリア教育全体計画」を見直し、小中高を貫く教育課程を検討する。</li> <li>「キャリア教育全体計画」に基づいて授業のねらいと内容を見直し、授業改善する。</li> <li>授業研究会等を計画的に実施し、教職員一人一人の授業力を向上させる。</li> </ul>   |   |   |
| 目標達成のための方策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒理解に基づく指導目標と学習活動を明確にし、授業実践と評価を行う。</li> <li>教育課程検討委員会を計画的に実施する。</li> <li>本校の教育資源やそれを活用した教育活動を整理し、全教職員で情報を共有する。</li> </ul>  |   |   |
| 具体的な取組状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元間の関連付けについて学部ごとに検討した。</li> <li>児童生徒が、進級する接続学部の授業体験を計画的に実施した。</li> <li>全教職員や保護者向けの進路研修会を実施した。</li> <li>令和3年度版の進路の手引きを更新し教職員と保護者に配付した。</li> </ul>  |   | D |
| 達成状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育全体計画は、児童生徒に育てたい力を考える上で有効なツールであるとの意識が教員内で向上し、内容の再整理を行った。</li> <li>学年毎の「育てたい姿」「目指す姿」に迫る授業づくりができた。</li> <li>接続学部の体験を通して、児童生徒は進学への見通しをもてた。</li> </ul>   |   |   |
| 自己評価  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「単元で期待される内面の育ち」の変容を見取ることで、児童生徒のできた、できなかったという部分だけではなく、気持ちの成長や変化まで捉えることができた。</li> </ul>  | C |
| ↑ 評価基準<br>↓<br>A：具体的な活動がなされ目標を達成できた<br>B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない<br>C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない |  |   |   |
| 学校関係者評価と意見  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師集団の授業改善に向かう熱意が素晴らしく、研究会での授業改善への先生方の意見は的確である。子どもの発達を確かに見取り、個々のニーズに応じた指導内容を設定し、授業改善を重ねていく。その地道な歩みが指導力の向上に結び付く。是非継続をしてほしい。</li> </ul> | C |
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育全体計画を活用し、系統的及び体験的な進路学習を実践する。</li> <li>見学や体験、職場実習等の系統的かつ多様な体験活動の充実を目指し、地域と連携したキャリア教育の実践を進める。</li> <li>外部評価を活用した振り返りや改善に向けた取り組みを充実させる。</li> </ul>   |   |   |

(2)豊かな教育のある学校の実現

|      |      |
|------|------|
| 評価領域 | 教育課程 |
|------|------|

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 重点目標   | 新学習指導要領の主旨を踏まえた「自立と社会参加」を目指した教育課程の編成と授業改善   |  | P |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の趣旨や教育課程の全体像について、教職員全員による十分な共通理解ができていない。</li> <li>・教科等を合わせた指導と各教科との関連についての理解が不十分である。</li> </ul>  |  |   |
| 具体的な目標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部の新学習指導要領への全面移行や高等部の移行期間を踏まえ、新学習指導要領及び児童生徒の実態、地域の実情等に基づく教育課程を編成する。</li> <li>・一人一台のタブレット端末、I C T機器の有効活用に向けた情報共有や職員研修を推進する。</li> </ul>  |  |   |
| 目標達成のための方策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部低学年では、遊びの指導、それ以上の学年では、生活単元学習を研究対象として学びの過程、内面の育ちに着目した授業研究を進める。</li> <li>・授業改善にあたっては、単元構想シートを活用し丁寧な実態把握と主体的・対話的で深い学びの視点で計画を進める。</li> </ul>   |  |   |
| 具体的な取組状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりミーティングを中心に据えた授業づくりの推進及び内面の育ちに着目した児童生徒の視点からの授業づくりを実践した。</li> <li>・事前授業研究会を経て全校授業研究会を実施した。研究会では、グループ協議をメインに据え、協議題を参加者全員で共有した。</li> <li>・全校授業研究会に合わせた研究だよりを発行し研究情報を共有した。</li> </ul> |  | D |
| 達成状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「遊びの指導」「生活単元学習」を取り上げ、単元構想シートによる授業づくりミーティングを行い授業づくりを行った。</li> <li>・ピクトグラムの活用は、教師が、授業を構想する際に、主体的・対話的で深い学びの視点のバランスを考える、有効なツールとして役立つ。</li> </ul>  |  |   |
| 自己評価   | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のニーズに応じた丁寧な教育実践により授業改善はなされてきた。しかし、教員間で教育課程についての議論を行う場の設定ができなかったことから、学部を超えての単元構成や配列、各教科のねらい等の確認や協議ができていない。</li> </ul>                               | C |
| ↑ 評価基準<br>↓  |   |  |   |
| A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた<br>B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない<br>C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない |   |  |   |
| 学校関係者評価と意見   | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の業務の精選が必要な時代ではあるが、日常的に子どもの育ちを話題にし、授業を作っていく中で子どもたちが育っていく楽しさを感じられる職場であってほしい。</li> <li>・I C T活用は、「習うより慣れる」しかない部分もある。楽しみながらI C Tの活用を取り入れてほしい。</li> </ul> | C |
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究2年目に向けた、自主公開研究会の計画と実施について教職員間で協力して進める。</li> <li>・教育課程検討委員会の定期的な開催により、指導の計画、実践、評価のサイクルを確立し、経営方針や児童生徒の実情に合致した教育課程改善を行う。</li> </ul>  |  |   |

(3)豊かな地域生活への支援

|      |          |
|------|----------|
| 評価領域 | 地域における学習 |
|------|----------|

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 重点目標  | 交流及び共同学習や地域との交流活動の計画的、組織的、継続的な実践。   | P |   |   |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学部、分掌部が連携して、交流及び共同学習を計画的に実施し、内容の充実を図ってきた。</li> <li>中学部の居住地校交流については小学部での実績を基に、地域の中学校でも継続実施できるようになってきている。</li> <li>小学部や高等部の近隣の小学校や高等学校との交流については、課題を整理する時期にきている。</li> <li>居住地校交流を行う前に、相手校で障害理解授業を実施することで、交流の活動内容が充実してきている。</li> </ul>                |   |   |   |
| 具体的な目標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学部が、それぞれ特色のある交流及び共同学習を実施する。</li> <li>交流相手校からの評価を生かし、交流及び共同学習を充実させる。</li> <li>地域の学校における障害理解授業の拡充を図る。</li> </ul>  |   |   |   |
| 目標達成のための方策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手校の状況や本校児童生徒の実態について情報交換を行い、計画的に学校間交流や居住地校交流を行う。</li> <li>交流及び共同学習、居住地校交流について活動の状況や課題と成果を確認する。</li> <li>広報や地域行事への参加、地域での活動等により、地域に対して積極的に本校の教育活動を発信すると共に、地域からの評価について情報収集をする。</li> <li>交流相手校の児童生徒が事前に障害理解授業を受ける。</li> </ul>                         |   |   |   |
| 具体的な取組状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援部通信「アシスト」を年内で3回発行した。</li> <li>居住地校交流は、本人や保護者の意向を確認しながらほぼ希望通り実施できた。</li> <li>小・中学校からの依頼による障害理解授業を実施できた。</li> </ul>  | D |   |   |
| 達成状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>通信や相談会、研修会の開催等を通して、校外に情報を発信できた。</li> <li>障害理解授業は、10校23回実施した。</li> <li>地域のクリーンアップ等の地域貢献活動、地区の幼稚園との交流や施設、事業所等での清掃活動などの作業体験学習を実施した。</li> </ul>  |   |   |   |
| 自己評価  | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;">A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、みどりっこ夏まつりは実施できなかったが、地域のクリーンアップや近隣の幼稚園、事業所等での窓清掃などの貢献活動はできた。</li> <li>交流活動は、事前の説明も含め丁寧に実施できた。</li> </ul> </td> </tr> </table>          | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、みどりっこ夏まつりは実施できなかったが、地域のクリーンアップや近隣の幼稚園、事業所等での窓清掃などの貢献活動はできた。</li> <li>交流活動は、事前の説明も含め丁寧に実施できた。</li> </ul>          | C |
| A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、みどりっこ夏まつりは実施できなかったが、地域のクリーンアップや近隣の幼稚園、事業所等での窓清掃などの貢献活動はできた。</li> <li>交流活動は、事前の説明も含め丁寧に実施できた。</li> </ul>  |   |   |   |
| <p>↑ 評価基準 ↓</p> <p>A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた<br/>                 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない<br/>                 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない</p> |   |   |   |   |
| 学校関係者評価と意見  | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;">B</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の人生をつなげて考え、小から中、高、社会へとイメージし、障害のある人も、ない人も協力し合える共生社会・地域社会を目指したい。</li> <li>居住地校交流、地域との連携などの良い活動が「見える化」されるとよい。</li> </ul> </td> </tr> </table> | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の人生をつなげて考え、小から中、高、社会へとイメージし、障害のある人も、ない人も協力し合える共生社会・地域社会を目指したい。</li> <li>居住地校交流、地域との連携などの良い活動が「見える化」されるとよい。</li> </ul> | C |
| B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の人生をつなげて考え、小から中、高、社会へとイメージし、障害のある人も、ない人も協力し合える共生社会・地域社会を目指したい。</li> <li>居住地校交流、地域との連携などの良い活動が「見える化」されるとよい。</li> </ul>   |   |   |   |
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>居住地校交流の更なる充実を図る。</li> <li>居住地校交流と絡めた障害理解授業を進める。</li> <li>地域と連携し、職場及び施設の見学や体験、職場実習等の系統的かつ多様な活動の充実を図る。</li> </ul>  | A |   |   |

(4) 総合教育センターとの連携の推進

|                       |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|
| 重点目標                  | 研修講座の受講やセンター指導主事からの指導、共同研究等による教員の資質向上及び授業改善を図る。   |   | P |
| 現 状                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する秋田県総合教育センターの施設利用や特別支援教育担当指導主事による本校研究への指導助言等をいただいている。</li> <li>今年度は、コロナ禍のため人流の制限があり、当初の予定どおりに互いの行き来ができず、期待された連携ができていない。</li> </ul>  |   |   |
| 具体的な目標                | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育センター指導主事による助言やセンター研修講座の積極的な受講による教員の資質向上及び授業改善を図る。</li> <li>実地研修の場として、センター研修員、研修受講者等の実習や参観を積極的に受け入れ、特別支援教育の理解推進を図る。</li> </ul>  |   |   |
| 目標達成のための方策            | <ul style="list-style-type: none"> <li>各校種の初任者が、本校の授業に参加するなどし本校の児童生徒と触れ合うことを通して特別支援教育について理解を深める。</li> <li>教育センター職員による学校見学会や交流会を通して、本校や児童生徒についての理解を深める。</li> </ul>   |   |   |
| 具体的な取組状況              | <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、初任者研修は当初の計画通り実施できなかった。</li> <li>所員、研修員は4月に見学会を実施することができた。</li> <li>センター指導主事による授業研究会は、特別支援教育担当3名を一度ずつ招聘することができた。研究をすすめるにあたり、貴重な助言をいただき、その後のまとめに生かすことができた。</li> </ul> |   | D |
| 達成状況                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>センター指導主事による指導助言は、研究部便りに掲載し、教員間で共有した。</li> </ul>  |   |   |
| 自己評価                  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>センター指導主事を招いての研究会は、研究を進める上での示唆を得ることができ有意義な会となっている。</li> <li>実地研修の場としての本校の活用は、コロナ禍の影響のため受け入れが難しかった。そこで、コロナ禍であっても、どのようにできるのかを検討していきたい。</li> </ul> | C |
| ↑ 評価基準<br>↓           |   |   |   |
| 学校関係者評価と意見            | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育センターの施設利用に関しては、分からないという評価も多かったものと考えらる。情報発信の面で工夫が必要であるととらえ、次年度以降の活動に活かしてほしい。</li> <li>I C Tの活用については、教員も楽しんで学んでほしい。</li> </ul>               | C |
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究に関しては、共同研究者として一度ならず定期的にアドバイスをいただくなどの活用をしていく。</li> <li>総合教育センターの人的リソースを生かし、各教科担当指導主事の活用についても検討し、実践を深める。</li> </ul>  |   |   |